KRd療法

カルフィルソ゛ミフ゛+レナリト゛ミト゛+テ゛キサメタソ゛ン療法

治療のスケジュール

ナンボカ	スケジュール(日数)							
お薬名	1	2	8	9	15	16	22	
デキサメタゾン ①							デカドロン	- 23~28日目 お休み
カイプロリス		100 B						
レブラミド dg分名 1日1回 朝食後 1日目から21日目まで服用							22~28日目 お休み	
(レナリドミド)	服用状況を日誌に記載してください 日誌の注意事項を守って服用してください							

点滴のスケジュール

外観	お薬名	点滴時間	薬の効果
000	デキサート 成分名 (デキサメタゾン)	15分	骨髄腫細胞を減らします アレルギーを予防します
700	カイプロリス ^{成分名} (カルフィルゾミブ)	1 0分	骨髄腫細胞を減らします



デキサメタゾン(デカドロン錠)について



22日目に服用します

1日1回朝食後に10錠服用



点滴中の注意

- 点滴部位に強い痛みや腫れ、かゆみを感じた場合は早めに医療スタッフまでお知らせください。
- 点滴終了時に眠気やふらつきを感じる場合は、無理せず気軽に 医療スタッフにお声かけ下さい。

起こりやすい副作用の発現時期と対処

下痢

- 下痢や水っぽい便が出ることがあります。
- 脱水予防のためスポーツドリンクなどで水分補給を行って下さい。薬で症状を和らげることもできます。医療者に相談ください

発熱•疲労感

- 投与後に熱が出ることがあります。通常、熱は自然に下がりますが、 下がらない場合は病院にお電話下さい。
- 体がだるくなることがあります。無理せず休養を取るようにしましょう。

咳・息苦しさ

- 咳がよくでるようになる、のどが腫れることがあります。
- 息苦しい、少しの動作で息が切れる、痰の少ない咳が出る、微熱が続く などの症状が現れた場合は、必ず連絡してください。

しびれ・筋肉の痙攣

- 治療を続けていくと、しびれがあらわれることがあります。
- 動肉の痙攣、筋力の低下がおきることがあります。

骨髄抑制

白血球:感染症を防ぐために必要な成分

- ●白血球が減少することがあります。白血球が減ると体の抵抗力が弱くなり 感染症にかかりやすくなります。
- ●この治療中は肺炎、上気道炎、帯状疱疹に注意してください。予防の薬が 処方されている場合には、必ず服用してください。
- ●感染予防のために、外出の際は人ごみをさけ、手洗い・うがいを こまめに行いましょう。

血小板:出血をとめるために必要な成分

- ●血小板が減少してあざや、出血が起こりやすくなることがあります。
- ●けがや打撲に注意し、歯磨きや鼻かみはやさしく行いましょう。

赤血球:貧血を防ぐために必要な成分

- ●赤血球中のヘモグロビン量が少なくなり貧血が起こることがあります。
- ●買い物や車の運転などは、体調に無理のないよう行いましょう。
- ●安静を心がけ、十分な睡眠・休養をとりましょう。

心臓への影響

心臓がドキドキしたり、息苦しくなったり、体がむくむことがあります。症状があらわれたら、必ず連絡してください。

高血圧

- 血圧が高くなることがあります。
- 定期的に血圧を測定しましょう。

その他の副作用

■ 足がむくんだり・痛くなる、突然息切れがする(静脈血栓)。血栓の予防には適度な運動と水分摂取が有効です。



このような症状が現れたら、必ずご連絡ください

- ●38度以上の発熱があるとき
- ●1日の半分以上を寝てすごすほどのだるさがあるとき
- ●乾いた咳が続く、または息切れを感じるとき
- ●吐き気止めの薬を内服していても、1日6回以上の嘔吐、 または水分をとれないほどの吐き気があるとき
- ●1日7回以上の下痢があるとき
- ●注射した部位が赤く腫れてきた、痛みや熱感がある
- ●皮膚に発疹やじんましんが出てきた



病院へ電話する前に確認しましょう

- ①診察券番号
- ②おかかりの診療科
- ③ 主治医の名前
- ④抗がん剤治療中であること
- ⑤気になる症状(具体的に)

連絡先

横浜市立大学附属病院

電話:045(787)2800(代表)

《平日8:30~17:00》

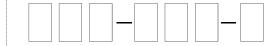
おかかりの診療科外来を

伝えてください

《平日の夜間および休日》

救急外来と伝えてください

※ ここに診察券の内容を写しましょう



お名前

